

第 113 回 病院・薬局実務実習近畿地区調整機構大学小委員会 議事録（確定）

日時：2022 年 7 月 1 日（金）18:00～19:00

場所：WEB（ZOOM）

【出席者】：

京都薬科大学 橋詰 勉 津島 美幸	京都大学 山下 富義 津田 真弘
同志社女子大学 芝田 信人 関本 裕美 内田 まよこ	大阪大学 上田 幹子 廣部 祥子
大阪医科薬科大学 角山 香織 栗原 健	近畿大学 大鳥 徹 小竹 武
摂南大学 菊田 真穂 辻 琢己	大阪大谷大学 名徳 倫明 小畑 友紀雄
武庫川女子大学 内田 享弘 田内 義彦	神戸薬科大学 白木 孝 猪野 彩
神戸学院大学 徳山 尚吾 橋本 保彦	兵庫医科大学 清宮 健一 桂木 聡子
姫路獨協大学 柳澤 吉則 若林 千里	立命館大学 藤田 卓也 角本 幹夫
和歌山県立医科大学 須野 学 安原 智久	徳島文理大学 四宮 一昭
徳島文理大学香川校 川添 哲嗣	就実大学 島田 憲一
福山大学 片山 博和	監事 平田 収正（和歌山県立医科大学）

（順不同、敬称略）

協議事項

- 2022 年度近畿地区調整機構委員会体制について（資料：協 1-1、協 1-2）

資料協 1-1 及び協 1-2 に基づき、委員長より近畿地区調整機構 2022 年度運営体制について、新任、交代、兼任を中心に説明がなされ、「実務実習指導養成小委員会」及び「2022 年度テキスト小委員会」に関し各委員長より補足説明がなされた。説明に対する意義はなく、議案は承認された。
- 2023 年度実務実習施設調整等について（資料：協 2）

資料協 2 に基づき、途中経過も含め 2023 年度の実務実習施設調整の進行予定について委員長より説明がなされ、昨年度からの変更点として「病院施設調整に関し 3 次調整を止めて調整は 2 回とする」、「担当者会議は 8 月 29 日（月）の 1 回のみで終えたい」との提案があり、異議なく承認された。また担当者会議に関し、出席は各大学 2 名として、会場は大学からの提供が無い場合は梅田等で会議場を借りて行う予定であることが追加で提言された。
- 実務実習受入施設の新規希望施設への対応について（資料：協 3-1、協 3-2）

資料協 3-2 にこれまで病院実務実習の新規受入希望申請があった病院の一覧が示され、これらの施設への対応を本年度より順次行いたいので、資料協 3-1 に基づき、地区担当大学による聞き取り調査及び調査結果の事務局への報告に関する要請が委員長よりなされ、異議なく承認された。
- 薬学教育協議会病院・薬局実務実習地区調整機構規則の変更について（資料：協 4）

現行の運営体制が「病院・薬局実務実習近畿地区調整機構規則」に則していない点があり、齟齬が生じている、との前回本委員会での指摘を受け、現行の運営体制に沿うよう、規則の変更が行われ、変更点に関し、資料協 4 を用いて委員長より説明がされた。変更点に関する異議はなく、提案通りで承認された。
- 2022・2023 年度近畿支部別学生数（総数）について（資料：協 5-1、協 5-2）

資料協 5-1 に基づき、2022 年度と比較する形で 2023 年度の近畿地区における学生数の増減が、府県ごとに委員長より報告された。次いで資料協 5-2 に基づき、近畿大学附属病院で実習を予定する学生

の地域別人数について報告がなされた。報告内容に対する質疑や異議はなく、報告内容は認められた。

6. 2023 年度実習日程（近畿地区）について（資料：協 6）

資料協 6 に基づき、委員長より近畿地区の 2023 年度実務実習日程の報告があり、本年度同様、第 1 期薬局実習においては 2 日間の土曜日・日曜日等の利用を推奨すること、第 4 期途中の正月休みは、12 月 29 日（金）～1 月 4 日（木）の 1 週間とすることが併せて報告された。報告された日程に対する質疑や異議はなく、報告内容は認められた。

7. その他

特記無し

以上、全ての議案が承認され、次回の病院・薬局実務実習近畿地区調整機構本委員会に議案として提出される旨が確認された。

報告事項

1. その他

特記無し

その他

- 協議事項 4「近畿地区調整機構規則の変更」に関し、規則の変更を行い、その後変更後の規則に則し体制として協議事項 1 を協議すべきで、順序が逆ではないかとの指摘があり、委員長よりこれまでの運営してきた体制が規則に即していなかったため、齟齬の無い様に現行の運営体制に合わせた規則の変更であり、これまでと異なる全くの新体制を構築するわけではないので、本日の進行で特段問位はないと思われる、との説明がなされた。
- 情報提供として、大阪大学の廣部委員より、2023 年度大阪大学医学部附属病院での大阪大学薬学部生の実習は第 2 期と第 4 期に分かれて行うこととなったこと、また第 4 期の受入れ枠は大阪大学薬学部生のみで埋まるため、他大学においては病院実習の施設調整に留意して頂きたいとの報告があった。

委員会後、廣部委員よりメールにて大阪大学医学部附属病院での実習受入について以下の訂正があった。

第 2 期 大阪大学若干名+他大学、第 3 期 大阪大学若干名+他大学、第 4 期 大阪大学のみ

- 委員より「新型コロナ感染の影響もあり、近畿地区調整機構の運用が変化したことに伴い、経費のあり様も変わったと思われる。その点を踏まえ、経費分担について検討をお願いしたい」との提言があり、委員長より「今後の変化を見据えて検討したいので、しばらく猶予を頂きたい」との回答があった。

以上

記録担当：田内義彦

《資料》

協 1-1 2022 年度近畿地区調整機構委員会体制

協 1-2 指導者養成小委員会委員更新について

協 2 2023 年度実務実習施設調整等について（案）

協 3-1 実務実習受入施設の新規希望施設への対応について

協 3-2 新規受入希望病院 2022

協 4 薬学教育協議会病院・薬局実務実習地区調整機構規則（変更案）

協 5-1 2022・2023 年度近畿支部別学生数（総数）

協 5-2 2023 年度近畿大学の附属病院での実習を予定する学生の地域別人数について

協 6 2023 年度実習日程（近畿地区）